

4. 北部スマトラ地域総合開発計画調査

(1) 案件の概要

1) 案件名

和 名：北部スマトラ地域総合開発計画調査

英 名：Integrated Regional Development Plan for the Northern Part of Sumatra

2) 事前調査

調査期間：1988年11月21日～1989年2月24日

3) 本格調査

コンサルタント：(財)国際開発センター、日本工営(株)

調査期間：1988年3月～1990年3月

4) 調査の種類

M/P

5) 相手国政府機関

担当機関：公共事業省人間居住総局都市・地域計画局

6) 調査の概要

①背景

第1次から第4次5ヵ年計画までの期間に、インドネシアの開発政策は総じて成功をおさめ、1965～85年の長期経済成長率は、アセアンのなかではシンガポールに次いで高い年実質4.8%を達成した。また、長年の国家目標であった米の自給も1980年代半に達成している。しかし、1980年代初頭の石油市況の低迷、主要1次産品の輸出価格低下に伴い、国際収支、財政収支の赤字が拡大し、インドネシア経済は低迷した。1984/85年に開始された第4次5ヵ年計画期間には、一連の経済再建計画及び構造調整政策が導入され、緊縮予算、税制改革、通貨切り下げ、規制緩和、民活、生産・投資・運輸・金融等の分野の自由化・分権化が進められた。

1988/89年に始まった第5次5ヵ年計画は、その第1の課題として、経済の構造改革を掲げ、1983年以降実施されてきた構造調整政策を推進するとともに、第2次長期25ヵ年計画の最初の5年間(第6次5ヵ年計画)に、インドネシア経済を離陸させるための基盤を確立することを目標にした。国家計画の3原則については、第4次計画と同様に、①公平、②成長、③安定の順とされている。

北部スマトラ地域総合開発計画調査は、1985年の協力要請、1987年の政府間合意、1988年1月のS/W締結を経て、1988年3月より開始されており、他方、第5次5ヵ年計画案が正式に議会の承認を得たのは、1989年1月である。

②調査対象地域の位置づけ

北部スマトラ地域の経済状況は、相対的に経済発展が進んでいるジャワ島と遅れている他の外

島の中に位置する。開発の可能性に関しては、以下の特性に見られるように、全国的に見ても群を抜いて高い。

- －豊富な自然資源（土地、水資源、水産・林産資源、鉱物資源）
- －輸出力（石油、天然ガス、パームオイル、ゴム、コーヒー、材木、エビ等）
- －比較的良く発達したインフラストラクチャ
- －トバ湖を始めとする多くの観光資源
- －地理的有利性（シンガポールやマレーシアへの近接、国際的な海洋航路の利用可能性）

③開発フレーム

開発戦略

開発の基本戦略として「公平を考慮した成長」を掲げ、以下の5つサブ戦略を設定した。

- (1)農業 : 地域経済の活性化、農村工業の基盤強化、
雇用・収入機会の創出を目的とした農業開発
- (2)鉱工業 : 効率的経済成長と輸出振興を目指した資源利用型工業開発
- (3)空間構造 : 都市中心の開発の推進、その成果の後背地への波及、
メダンの地域経済・社会活動の中心としての役割
- (4)基盤施設 : 経済的、空間的開発の方向に整合したインフラの整備
- (5)福祉厚生 : 域内の地域格差の是正、調和のとれた開発

当該地域の2008年までの達成目標

- (1)国内需要（域内、全スマトラ、全国）に応じうる大規模食糧生産基盤の整備
- (2)輸出／外貨獲得における主導的地位の保持（石油・ガス、農産物、加工製品、観光）
- (3)ジャワに次ぐ第2の工業生産地への成長
- (4)ジャワからの移入者の主な受け入れ地としての機能発揮
- (5)域内ポテンシャルの統合的開発とそれによる国家開発への強力な貢献

空間開発コンセプト

スマトラ島全体は、ほとんど相互に影響しあうことのない4つの経済圏、即ち、①北部（アチェ州、北スマトラ州）、②中部（西スマトラ州、リアウ州）、③南部（ジャンビ、ベンクル州、南スマトラ州）、④ジャカルタ圏（ランボン州）に分かれ、それぞれ、メダン、パダン、パレンバン、バンドルランボンが中核都市である。

今後の経済開発の加速化によって、以下の1次開発軸が形成される。

- －スマトラ島東岸北部：アチェ→メダン→ドマイ
- －スマトラ島西岸北部：アチェ→ムラボー→アチェ西岸、シボルガ→パダン
- －南北軸：メダン→アチェ西岸、メダン→シボルガ、ドマイ→バカンバル→パダン

これに伴い、4経済圏が相互に統合され、4中核都市間の階層構造が明確化される。メダンは、北部4州の中心都市であるとともに、その人口・交通軸における戦略的な位置により、スマトラ全島の中心都市となる。南部4州においては、パレンバンが地域の中心都市となる。

各州の役割

- (1)アチエ州 北東部：食糧供給地、農産品加工、化学工業基地
南西部：東方向（北スマトラ州）へのアクセス、孤立した地域のモデル開発
- (2)北スマトラ州 東部：当該地域の中心拠点、工業化拠点、プランテーション作物の加工、国際観光
西部：市場向け農業の多角化、離島開発のモデル
- (3)西スマトラ州 州全体：地域を主導する先進農業、軽工業の集積、離島開発のモデル
- (4)リアウ州 丘陵地：プランテーション開発、移住計画
低湿地：スワンプ開発のモデル

④優先プログラム／プロジェクト

自然・経済的条件の同質性、中心都市等の諸条件を検討し、当該地域を24の地区に分割した。その中から一定の基準に基づいて、以下の11カ所の優先地区を選定し、それぞれの総合開発プログラム（IDEP）を作成した。

先進地区

(1)北部アチエ（アチエ州）

役割：メダンにつながる東岸1次開発軸の一端、主に農業と密接に関連した工業集積

(2)メダン都市圏（北スマトラ州）

役割：北部スマトラ地域の中核都市として強化し、製造業、サービス産業を振興

(3)ミナン高原（西スマトラ州）

役割：地域全体の農業の中心、西岸1次開発軸の中核の一つ、スマトラ島西岸部の主要なゲートウェイ

後進地区

(4)西アチエ（アチエ州）

役割：アチエ州西岸地帯全体の開発の中核、スマトラ島西岸部のゲートウェイの一つ

(5)タバヌリ西海岸（北スマトラ州）

役割：東岸1次開発軸の中心メダンと西岸1次開発軸の中心パダンを結ぶ軸上にある高ポテンシャル地区、西岸のゲートウェイの一つ、ニアス島への供給ベース

(6)南シジュンジュン（西スマトラ州）

役割：大規模移住計画地区、市場向け農業多角化の中心

(7)ロカン流域（リアウ州）

役割：核エステート／小規模経営形式（NES）の移住計画地、高ポテンシャルの活用

(8)インドラギリ川流域（リアウ州）

役割：低湿地（スワンプ）開発を含む河川流域開発のモデル

離島地区

(9)ニアス島（北スマトラ州）

役割：地区内農民及び移住農民を支援しつつ、ポテンシャルのある土地を有効に活用する。

(10)メンタワイ諸島（西スマトラ州）

役割：離島の伝統的な生活様式や環境と調和した開発のモデル

(11)リアウ諸島 (リアウ)

役割：シンガポールへの近接を利用した輸出向け開発、高付加価値養殖業を含む水産開発
上記の優先地区について作成された総合開発プログラム (IDEP) は、各地区平均39件の個別プロジェクト/プログラム (最多のメダン圏 IDEP で78件、最少のメンタワイ諸島 IDEP で16件) で構成されている。

11カ所の優先地区以外の地域については、主要な生産セクター、インフラセクター別の開発戦略及びそれに沿った開発プロジェクト/プログラムが提案されている。

(2) 調査終了後の動向・活用状況

1) 動向・活用状況

①調査終了後の動向

当該調査の実施中及び終了後に、以下のような進展があった。

- 北部スマトラ地域調査が開始された直後に、BAPPENASより、第5次5ヵ年計画の策定に際して、提案事項を採用したい旨の要望があり、当初の調査スケジュールを7ヵ月ほどはやめて優先プロジェクトをリストアップするという経緯があった。
- 当該調査の実施中に、同様の調査を南部スマトラ地域の4州についても実施し、スマトラ島全土を一貫した開発フレームのもとで統合するというBAPPENASの意向が表明され、1989年5月に正式な協力要請があった。その後、南部スマトラ地域総合開発計画調査のS/Wは、1990年11月に締結された。
- 本調査の報告書提出後、カウンターパート機関である公共事業省人間居住総局都市・地域計画局が主要部分をインドネシア語に翻訳し、中央政府関連機関、州政府BAPPEDA等に配付した。
- 調査終了後、都市・地域計画局にたいして、JICAの個別専門家1名が派遣され、その業務の一部として、優先開発地域の総合開発プログラム (IDEP) 等の本調査による提案事項のモニタリングを実施することとなった。IDEP地域毎の提案プロジェクトの進捗状況等に関して、1992年よりアンケート調査がはじめられ、1993年中に回答の回収がほぼ終了し、本現地フォローアップ調査の実施時点でとりまとめ中である。
- 1991/92年のブルーブック (ドナー向けプロジェクトショッピングリスト) には、11カ所のIDEPの内、3地区 (リアウ諸島、インドラギリ流域、メンタワイ島) の地域開発案件が掲載された。また、タバヌリ西海岸 IDEPの一部について、イスラム銀行の融資が決定した。ニマス島においては、灌漑整備に関するJICA開発調査が実施された。

②開発フレーム

今回の現地フォローアップ調査では、北部スマトラ地域4州の関係機関を訪問しなかったが、1990年から1993年にかけて作成された州レベルの空間構造計画を入手し、その内容をチェックすることとした。

北部スマトラ地域総合開発計画調査においては、州毎に独立して策定される開発計画の間の不整合や矛盾を避け、4州相互の経済的結び付きを強化する方向で地域全体の開発フレームが設定されている。優先地域 (IDEP地域) については、4州全体の地域構造に基づき候補地を決定

し、州BAPPEDAとの協議によって最終的な選定を行っている。IDEP地域の分布について、ある程度州間のバランスを考慮してはいるが、州毎の開発フレームを提示してはいない。従って、4州全体をカバーする広域開発フレームは、インドネシアの全体計画を策定・調整する立場にあるBAPPENASの地域開発関係部局で、主要な参考資料の一つとして活用されている半面、州レベルの活用状況は、以下の通り、かなりのばらつきがある。

一州空間構造計画において、北部スマトラ地域総合開発調査の提案した地域開発フレームが明示的に活用されているのは、北スマトラ州のみである。北スマトラ州の空間計画では、4州全体のなかでの自州の位置づけ、役割を示すために、当該JICA調査を参考として用いているほか、JICA調査で使用したICORを州経済の将来予測（2009年目標）に採用している。

一州空間構造計画で示されている開発優先地区は、以下のIDEP地域と重なっている。

アチェ州	: 北部アチェ、西岸部アチェ
北スマトラ州	: メダン都市圏、タバヌリ地域
リアウ州	: インドラギリ地域、リアウ諸島
西スマトラ州	: ミナン高原、メンタワイ島

③優先プロジェクト/プログラム

優先地区の総合開発プログラム（IDEP）のモニタリングに関連して、個別派遣専門家がアチェ、リアウ、西スマトラの3州のBAPPEDAを訪問した際、アチェ州ではよく活用しているとの長官の発言があり、他方、リアウ州では新任の長官が報告書の存在を知らなかったという。また、西スマトラ州では、BAPPEDAが他の州政府部局の代表者も加えたミーティングを設定したが、BAPPEDA自体はともかく他の部局からの出席者の中には、本調査報告書を知らないものが少なくなかったとのことである。その後、同専門家によって11ヵ所のIDEP地域について提案された個別プロジェクト/プログラムの進捗状況に関するアンケート調査が設計・実施された。回答結果は、現在とりまとめ中であるが、回答の一部は以下の通りである。

リアウ州

ロカン地域IDEP	: アンケートにリストアップされた27案件のうち、5件が実施中、5件が計画中、1件が中止、残余は未回答。
インドラギリ流域IDEP	: アンケートにリストアップされた47案件のうち、2件が一部実施済み/一部実施中、7件が実施中、3件が一部実施中/一部計画中、7件が計画中、残余は未回答。
リアウ諸島IDEP	: アンケートにリストアップされた26案件のうち、13件が実施中、6件が計画中、3件が中止、残余は未回答。

西スマトラ州

ミナン高原IDEP	: アンケートにリストアップされた46案件のうち、5件実施済み、8件が実施中、3件が計画中、1件が中止、残余は未回答。
メンタワイ島IDEP	: アンケートにリストアップされた16案件のうち、2件が実施中、1件が計画中、5件が中止、残余は未回答。
南シジュンジュン地域IDEP	: アンケートにリストアップされた22案件のうち、5件が実施中、残余は未回答。

今後アンケート回答結果がまとまった段階でそれを中央政府の担当省庁に提示し、個別案件の具体化についての情報を収集することが計画されている。

2) 技術移転の状況

本件調査のカウンターパート機関であった公共事業省人間居住総局都市・地域計画局では、11カ所のIDEP地域以外の一部の地区について、総合開発プログラムを作成中である。プログラムの作成手法は、JICA調査のものを修正・詳細化したものを用いている。

5. 南部スマトラ地域総合開発調査

(1) 案件の概要

1) 案件名

和名：南部スマトラ地域総合開発計画調査

英名：Integrated Regional Development Plan for the Southern Part of Sumatra

2) 事前調査

調査期間：1990年10月25日～11月10日

3) 本格調査

コンサルタント：(財)国際開発センター、日本工営(株)

調査期間：1991年3月～1993年3月

4) 調査の種類

M/P

5) 相手国政府機関

担当機関：公共事業省人間居住総局都市地域計画局

6) 調査の概要

①背景

南部スマトラ地域総合開発計画調査は、北部スマトラ地域の調査がまだ実施中であった1989年5月にインドネシア政府が協力要請し、1989年7月の政府間合意、1990年11月のS/W締結を経て、1991年3月より開始された。

本調査当時実施中であった第5次5ヵ年計画は、次の第6次5ヵ年計画期間に、より多様化し、効率的かつダイナミックな経済への転換を実現するため、農業部門(食糧自給の維持、農業生産の多様化)と工業部門(輸出指向型産業、大量の労働力吸収、およびアグロインダストリー)の振興を特に強調し、バランスのとれた経済構造を達成することを目指していた。

インドネシア経済は、1980年代半ばからの一連の規制緩和と外国直接投資や国内民間投資の急増、石油・天然ガス以外の輸出(特に、工業製品)の拡大等の要因により、1980年代の終わり頃から非常に高い経済成長を遂げた。他方で、インフレの昂進、賃金の上昇、熟練労働力の不足、電力、通信、道路、港湾などのインフラ整備の立ち遅れが顕在化し始めた。景気の加熱を抑えるために金融引き締めを実施したため、1990年代に入って外資、内資の新規投資が冷え込み始め、また、石油化学工業等の大型プロジェクトの実施見直し・延期が決定されていた。

②調査対象地域の位置づけ

南部スマトラ地域が地域総合開発調査の対象地域とされた主要な理由は、以下の通りである。

一域内の非常に高い開発ポテンシャル、および先進地域ジャワと北部スマトラ地域を結ぶ地理的位置

- 域内の社会経済的結び付きが、歴史的な東西方向（河川沿いの方向）から南北方向（スマトラ縦貫道路沿い）へと発展、多様化しつつあり、地域全体、州間の将来についての見通しが必要であること
- 各州の開発計画間の矛盾を避け、将来のバランスのとれた秩序ある発展のために、これまでの開発を見直し、総合的な開発計画を作成する緊急な必要性があること
- 北部スマトラ地域と西ジャワ州に長期地域開発計画があるのに対して、当該地域にはこれらと整合する計画がないこと

③開発フレーム

当該地域の役割

- (1) 地域を構成する4州相互間の経済的結び付きを強化しつつ、ジャワや北部スマトラ地域とともに国家開発を先導する。
- (2) シンガポール/バタム島/ジョホールの「成長の三角地帯」及び隣国に近接している地理的優位を活かし、輸出促進を図る。
- (3) 環境保全と両立する持続的開発を促進し、国家の財産としての自然環境を保護する。

当該地域の2010年までの達成目標

- (1) ジャワ、スマトラ軸への統合
- (2) 付加価値の増加と雇用の創出
- (3) 地域内格差の是正
- (4) 環境管理システムの確立

将来の開発方向と空間戦略

当該地域の開発の方向として、(1)ジャワ向けの資源供給基地型経済、(2)農業特化型経済、(3)農工業関連型経済の3つを検討し、十分に高い成長の達成、より公平かつ調和のとれた地域開発の達成、実現に必要な開発努力という観点から、(3)の農工業関連型経済を選択した。

空間戦略としては、以下の3つのシナリオを検討し、空間戦略3を選択した。

- 空間戦略1 : 東側海岸部軸（農業を工業に近付ける）
- 空間戦略2 : 内陸部軸（工業を農業に近付ける）
- 空間戦略3 : 二重軸（戦略1と戦略2の統合）

上記開発方向と空間戦略に沿って、南部スマトラ地域の開発概念図を作成し、この枠組みのなかで4州それぞれの役割を設定した。

④優先プログラム/プロジェクト

地域全体としての開発概念図に基づき、以下の6優先地区（通常は、県/市の規模）を選択し、それぞれの総合開発プログラム（IDEP）を作成した。

(1) タンジュンジャブン県（ジャンピ州）

戦略テーマ：成長の三角地帯を利用しながら、自然との調和のある成長を達成する。

(2) バレンバン市（南スマトラ州）

戦略テーマ：恵まれないコミュニティを改善しながら工業化を推進する。

(3) ムシラワス/ラハット2県（南スマトラ州）

戦略テーマ：地区内の中核都市を強化しながら野菜果物生産及び農産加工業を振興する。

(4)ブンクルスラタン県（ブンクル州）

戦略テーマ：孤立を克服しつつ、開発のための基盤造りを推進する。

(5)ランボンウタラ県（ランボン州）

戦略テーマ：地区内農民及び移住農民を支援しつつ、ポテンシャルのある土地を有効活用する。

(6)バンドルランボン市／ランボンスラタン県（ランボン州）

戦略テーマ：ジャワ島からみたスマトラへの玄関口として、開発基盤を整備し、ポテンシャルの高い産業を振興する。

各優先地区について作成された総合開発プログラムは、平均32件の個別プロジェクト／プログラム（最多のバンドルランボン／ランボンスラタンIDEP51件、最少のランボンウタラIDEPで22件）で構成されている。また、各IDEPでは、優先順位の高いプロジェクト／プログラムが選定されている（各地区平均12件）。

6カ所の優先地区以外の地域については、主要な生産セクター、インフラセクター別の開発戦略及びそれに沿った開発プロジェクト／プログラムが提案されている。

(2) 調査終了後の動向

1) 動向・活用状況

①調査終了後の動向

当該調査の終了後に、以下のような進展があった。

一本調査の報告書提出後、カウンターパート機関である公共事業省人間居住総局都市・地域開発計画局が主要部分のインドネシア語への翻訳を開始しており、1993年度中に終了する予定である。

一北部スマトラ地域総合開発調査の終了後、都市・地域計画局に派遣された長期専門家に加えて、1993年12月より短期専門家1名が派遣され、南部スマトラ地域のIDEP地域についてモニタリングを実施することとなった。既に、12月中旬にアンケート調査の説明・依頼が行われている。

②開発フレーム

今回の現地フォローアップ調査では、南部スマトラ地域4州の関係機関を訪問しなかったが、南スマトラ、ジャンビ、ランボンの3州の州空間構造計画を入手できたため、その内容をチェックすることとした。

北部スマトラ地域の調査と同様に、南部スマトラ地域総合開発計画調査においては、州毎に独立して策定される開発計画の間の不整合や矛盾を避け、4州相互の経済的統合、及び当該地域と北部スマトラ地域との結び付きを強化する方向で地域全体の開発フレームが造られている。優先地域（IDEP地域）については、4州全体の地域構造に基づき候補地を決定し、各州BAPPEDAとの協議によって最終的な選定を行っている。IDEP地域の分布について、ある程度州間のバランスを考慮してはいるが、州毎の開発フレームを提示してはいない。従って、地域全体の開発フレームは、インドネシアの全体計画を策定・調整する立場にあるBAPPENASの地域開発関係部局や公共事業省都市・地域計画局で、主要な参考資料の一つとして活用されている

が、州レベルの活用状況は、以下の通り、かなりのばらつきがある。

- 一州空間構造計画において、南部スマトラ地域総合開発調査の提案した地域開発フレームが明示的に活用されているのは、ジャンビ州のみである。ジャンビ州の空間計画では、4州全体のなかでの自州の位置づけ、役割を示すために、当該JICA調査の空間フレームを明示的な参考として用いている。
- 一南スマトラ州では、第1次開発拠点として、IDEPと同じバレンバン市のほか、スカユ、ムアラ・エニム、パトゥ・ラジャの3都市が選定されている。JICA調査では、バレンバン-パトゥ・ラジャーバンダール・ランボンからなる三角地帯は、スマトラ島南部の成長のトライアングルとして、当該地域全体の開発をリードする地域として位置づけられている。
- 一南スマトラ州のムシ・ラウス/ラハットIDEPについては、その中心都市のルプク・リンガウとラハットが2次的拠点として選定されている。しかし、州開発フレームでは、ムシ・ラウス/ラハット地域の優先順位はあまり高くなく、バレンバンの南方の地域の方が上位とされている。
- 一ジャンビ州では、シンガポール/バタム島/ジョホールのいわゆる「成長の三角地帯」との関連でタンジュンジャブンIDEPが提案されたが、州空間計画では、東沿岸部の低湿地一帯は、原則として環境保全地域として位置づけられている。ただし、州都ジャンビ市を中核とした都市システムの整備においては、「成長の三角地帯」と関連づけた開発の方向が重視されている。
- 一ランボン州では、州都バンダールランボンの中核とした工業化、北部ランボン地域での農業を中心とした開発が重視されており、この意味では、IDEP地域と同方向の開発フレームが示唆されている。ただし、同州の空間計画は、まだ調整中とのことである。

③優先プロジェクト/プログラム

6カ所の優先地区の総合開発プログラム(IDEP)については、北部スマトラ地域調査と同形式のアンケート調査によるモニタリングが、短期派遣専門家によって1993年末に開始されている。アンケート回答結果がまとまった段階で今度は中央政府の担当省庁に提示し、個別案件の具体化についての情報を収集することが計画されている。

以上のIDEP関連の案件以外では、バタン・ハリ川流域総合開発計画調査、ランボン・スラタン洪水管理・砂防プロジェクト、スマトラ光ファイバー伝送路計画等が、具体化に向けての検討段階に入っている。

2) 技術移転の状況

本件調査のカウンターパート機関であった公共事業省人間居住総局都市・地域計画局では、JICA調査で選定されたIDEP地域以外の一部の地区について、総合開発プログラムを作成中である。プログラムの作成手法は、JICA調査のものを修正・詳細化したものを用いているとのことである。

Ⅲ. 添 付 資 料

1. 先方主要面談者リスト
2. 現地調査質問表

III. 添付資料

1. 先方主要面談者リスト

(1) タイ王国

1) 国家経済社会開発庁 (NESDB)

Dr. Utis Kaothien	Director: Urban Development Coordination Division
Mr. Manu Sattayateva	Director: Central Region Development Center
Mr. Somchet Teracoop	Director: Office of Eastern Seaboard Development Committee/ Southern Region Development Center

2) 内務省

Mr. Churdvit Ridhiprasart	Director: Office of Urban Development, Department of Local Administration
Mr. Mana Chotikapanich	Director: Planning Division, Public Works Department

3) 観光局

Mr. Montri Jantrupon	Director: Public Investment Coordination Division
Ms. Bangomrat Chinaprayoon	Chief: Project Analysis Section, Public Investment Coordination Division

4) 工業団地庁

Mr. Saksit Sukusmake	Director: Project Administration Division
Dr. Sanit Bantuchan	Industrial Estate Manager: Laem Chabang Industrial Estate

5) DTEC

Mr. Nipon Sirivat	Chief of Japan Sub-Division
Ms. Priya Reonmongkol	Chief of Monitoring and Evaluation SUB-Division

6) 在タイ国日本大使館

黒木弘蔵	一等書記官
------	-------

7) 海外経済協力基金バンコク駐在員事務所

大貝隆之	次席駐在員
------	-------

8) JICA派遣専門家

鈴木秀行	NESDB、経済統計分析専門家
平林正之	内務省Public Works Department、下水道専門家

(2) インドネシア

1) 国家開発計画庁 (BAPPENAS)

Ir. Bambang Panudju

局長：外国援助・地域開発1局

Dr. Manuwoto

局長：空間計画・環境局

2) 公共事業省

Ir. Rhyat

計画局次長：水資源総局計画局

Ir. R Hermanto Nandar

人間居住総局計画局外国援助業務課

Ir. M. Yusuf Gayo

局長：水資源総局河川局

Ir. Suradji

水資源総局河川局

Ir. Slamet Hadiwijono

水資源総局計画局（援助担当課）

Ir. Achmad Lanti

局長：人間居住総局、住宅局

Ir. Mauritz Pasaribu,

人間居住総局、都市・地域開発局

Dra. Dyah Heraway

人間居住総局、都市・地域開発局

Ir. Agus Muharram

人間居住総局、都市・地域開発局

Ir. Bambang

人間総局東部ジャワ州事務所

3) 住宅省

Ir. Djuwanda Djoekardi

次官：住宅省

4) 中部ジャワ州BAPPEDA

Ir. Mulyono Baroen

部長：インフラ開発部

Ir. Henky Hermantoro

インフラ開発部

5) 中部ジャワ州観光部

Ir. Tedjosuminto

部長

6) 東部ジャワ州BAPPEDA

Ir. Hadi Prasetyo

空間計画課長

Ir. Budi Iswayo

インフラ開発部水資源担当

7) 在インドネシア日本大使館

石川 浩

一等書記官

8) JICA派遣専門家

滝元 勝

人間居住総局、都市・地域計画局

2. 現地調査質問表

今回の総合開発計画分野の現地フォローアップ調査で、調査対象案件について作成した質問表は次の通りである。

(1) タイ王国

FOLLOW-UP SURVEY ON JICA ASSISTED DEVELOPMENT STUDIES IN THAILAND : CASES OF INTEGRATED DEVELOPMENT PLAN

Objectives:

Objectives of the survey are as follows;

- (1) to obtain the information on present status of development activities in the areas where the past JICA assisted development studies (specifically Integrated Development Plan Study) had focused,
- (2) to delineate how the outcomes of the studies have been utilized (if not fully utilized, analyze obstacles for the implementation of proposed strategies and priority projects), and
- (3) to utilize the findings for the improvement of the further technical cooperation between our two countries.

Period of the Surveys:

From December 7 to December 22, 1993.

Cases are following 4 development studies:

1. The Sub-regional Development Study of the Upper-Southern Part of Thailand (Final Report submitted in March-1985)
2. The Study on The Development Project of Laem Chabang Coastal Area (Final Report submitted in February-1985)
3. Upper Central Region Study (Final Report submitted in November-1990)
4. The Master Plan Study for the Development of Phatthaya Area (Final Report submitted in June-1990)

Focus of the Survey

(1) Present Spatial Strategies and Outcomes of the Studies

What makes Integrated Development Plan studies distinguishable from project-by-project type of studies is their emphases upon policy oriented strategies (especially of those related to spatial framework). Many of priority projects were proposed as possible measures to realize their recommended spatial strategies in the context of national and regional policy priorities. Thus, it is important to grasp present spatial strategies of 4 specific areas with special reference to outcomes of the above mentioned 4 studies.

(2) Implementation of Proposed Priority Projects

Among the many proposed priority projects (including both physical and institutional ones), some might be in progress or have been completed and some might not. The present situation could be the results of many different factors, such as; continuity or revision of development policies and priorities, technical or financial considerations after more detailed project specific studies, etc. It is important to obtain information on major projects with special reference to outcomes of the above mentioned 4 studies.

It should be noted that we do not simply assume that disparities between "planned" and "present" activities show the low level of utilization. Rather, it is most important that how the "planned" ideas have contributed

to the process of realizing "present" activities.

(3) Positive Effects of the Studies Besides the Outcomes of the Studies

Besides the direct outcomes, there could be positive effects of the above mentioned 4 studies, such as the process of study gave the Thai planners good opportunities to deal with planning from spatial and inter-sectoral perspectives. It is important to obtain information on such positive impacts with special reference to the process of the above mentioned 4 studies.

"Summary Table of Recommendations" and "Summary Table of Present Development Activities" for 4 cases

A Pair of Matrix Tables

To facilitate the survey with above mentioned focuses, we prepared a pair of tables, namely a "Summary Table of Recommendations" and a "Summary Table of Present Development Activities," for 4 cases (see attached tables). Two kinds of tables are in a form of two-dimensional matrix. One dimension (vertical columns) represents spatial aspects and components. The other dimension (horizontal rows) represents sectoral aspects.

Summary Table of Recommendations

In a "Summary Table of Recommendations," policy recommendations and priority programs and projects are summarized. Above a table, two major factors of each study, namely "National Development Scenario" and "National Spatial Role" of the study area identified as of a study period, are also summarized.

Policy oriented outcomes of each study (spatial framework, policy recommendations, sub-regional roles and strategies) are summarized in the first two rows of a table. They constitute categories of one dimension (vertical columns) representing spatial aspects and components.

Each cell from and below the third row represents an intersection of spatial components and sectoral aspects (horizontal rows). A priority project or a program falls into a certain cell in line with its representation of spatial strategies and sectoral characteristics.

Summary Table of Present Development Activities

A "Summary Table of Present Development Activities," on the other hand, is drawn in exactly the same form. However, cells are left blank except for sub-regional categories and sector categories. This table is to be filled with information of the present development activities through this FOLLOW-UP SURVEY.

How These Two Tables Will Be Used

These two tables will be the baseline of the analyses on how the past studies have been utilized. Again, it should be noted that we do not simply assume that disparities between "planned" and "present" activities show the low level of utilization. Rather, it is most important that how the "planned" ideas have contributed to the process of realizing "present" activities. Therefore, tables will mainly be used to delineate two extreme ends of the process.

THE SUB-REGIONAL DEVELOPEMNT STUDY OF THE UPPER-SOUTHERN PART OF THAILAND
- Summary Table of Recommendations (as of March 1985)

National Development Scenario: ①An apparent trend towards industrialization and internationalization of the economy, ②Possible acceleration of concentration of the national economy on Bangkok, ③Diversification of the concentration toward the other regions, especially the Thai Gulf area, is needed.

National Spatial Role of the UCR: ①Accommodate dispersion of the BMR economy, ②Mobilize rich natural resources, ③Utilize its strategic location to play a key role in the expansion of the international outlets of Thailand, ④Play a key role in the integration of the South with the rest of the country.

SPATIAL FRAMEWORK		①Maximize roles of the cross-roads of the East(the Gulf of Thailand)-West(the Andaman Sea) and the North(BMR)-South(the Southern Thailand) linkages (Integrated Actions for East-West Axis Development). ②Utilize rich natural resources with special attention to retain their renewal capacity.		
SUB-REGIONAL ROLES AND STRATEGIES		Surat Thani area (the Gulf of Thailand Area)	Phuket area (the Andaman Coastal Area)	Hinterland and the whole Upper-South
		①Develop Surat Thani into a major industrial distribution center on the seaboard of the Gulf of Thailand. ②Develop Surat Thani into a major urban center on the seaboard of the Gulf of Thailand.	①Develop Phuket into a center for international trade. ②Develop Phuket into a center for tourism. ③Develop Phuket into a center for export industry. ④Develop Phuket into a service center for the Andaman Coastal Area.	①Reinforce the link between Surat Thani and Phuket (East-West link). ②Achieve full utilization of the resources available in the hinterland through; (i) agricultural expansion and intensification, (ii) environmental rehabilitation, and (iii) intermediate agro-industrial development.
MAJOR SECTORS	Primary Resource Development	Tapi-Phum Duang River Management (irrigation, water supply).		Central Lowland Development (Oil Palm, Rubber).
	Industrial Development	Surat Thani Industrial Estate. Tapi-Phum Duang River Management (Industrial water supply).	Phuket Airport Industrial Estate and Export Processing Zone.	
	Tourism Development		Identification of the beaches to be developed intensively.	
	Urban and Human Settlement	Suratani Urban Development. Tapi-Phum Duang River Management (urban water supply).	Phuket Urban Development. Phuket Water Supply.	
	Transportation	Khanom Deep Seaport.		East-West Road Link (Surat Thani Bypass-Airport-Phanom Section, Phuket New Bridge). East-West Rail Link (170km of new, 31km of improvement).
	Energy Development		North Krabi Oil Refinery and Product Pipeline Between North Krabi and South Khanom. Tapi-Phum Duang River Management (hydropower).	

THE STUDY ON THE DEVELOPMENT PROJECTS OF LAEM CHABANG COASTAL AREA

- Summary Table of Recommendations (as of February 1985)

National Development Scenario: ①An apparent trend towards industrialization and internationalization of the economy, ②Possible acceleration of concentration of the national economy on Bangkok, ③Diversion of the concentration toward the other regions, especially the Thai Gulf area, is needed.

National Spatial Role of the Laem Chabang: ①One of the New Growth Centers of ESDDP that is to attract a considerable amount of population from the BMR and the rest of the country, ②New Port City with integrated development to become the main gateway of Thailand.

(1 rai = 0.16ha, short term = 1991, long term = 2001)

SPATIAL FRAMEWORK		①Integrated development of New Port City with three major components as follows: Industrial Estate, Port, and New Town. ②Creating a living conditions with amenity paying special attention to (1) creation of clean environment making utmost use of the existing water basin and stream and vegetation, (2) creation of an international atmosphere with an international deep sea commercial port, (3) separation of different functions of manufacturing, business, residence, and reserved area to avoid congestion and conflicts.		
SUB-REGIONAL ROLES AND STRATEGIES		New Town area (next to industrial estate)	Industrial Estate	Port Area
		①Residential area for incoming population. ②Commercial center by private sector. ③Public services and open space. ④Isolated from trespassing traffic.	①Creat job opportunities(GIE: 19,000 workers, EPZ: 15,500 workers). ②Divert and control excessive growth in the BMR. ③Attract small to medium scale industries. ④Develop General Industrial Estate and Export Processing Zone with appropriate green buffer zones.	①A much more efficient alternative to the already saturated Bangkok Port. ②Accomodate growing containerized cargo.
MAJOR SECTORS	Industrial Development		General Industrial Estate - short term: 1,367 rai, 9,900 workers - long term: 2,100 rai, 15,500 workers. Export Processing Zone - short term: 423 rai, 10,370 workers - long term: 700 rai, 19,000 workers.	
	Port Development			Berth Development - short term: 6 Berth(3 container, 1 Break Bulk, 1 domestic BB, 1 Tapioca, 1 Sugar, 1 Molasses), - long term: 16 Berth(7 container, 7 Break Bulk, 1 domestic BB, 1 Tapioca, 1 Sugar, 1 Molasses)
	Urban Development	Residential - short term/ long term: 381/ 3,025 rai, 24,000/ 120,000 persons, 5,133/ 26,100 houses. Commercial - short term/ long term: 27/ 206 rai. School - long term: Kindergarden 0.32ha x 32, Primary school 2.5ha x 8, Secondary school 8ha x 4. Parks - short term/ long term: 55 rai/ 350 rai. Roads - short term/ long term: 160/ 1,280 rai.		
	Transportation Planning	Separate the traffic flow of the passengers and cargo. Distinguish functions and characteristics of each road.		
	Utility Development	Water Supply Sewerage System Drainage System Solid Waste Disposal Power Supply Telecommunication System	Land Preparation Water Supply Sewerage System Drainage System Solid Waste Disposal Power Supply Telecommunication System	Land Preparation Water Supply Sewerage System Drainage System Solid Waste Disposal Power Supply Telecommunication System

THE MASTER PLAN STUDY FOR THE DEVELOPMENT PHATHHAYA AREA
- Summary Table of Recommendations (as of June 1990)

National Development Scenario: ①An apparent trend towards industrialization and internationalization of the economy, ②Possible acceleration of concentration of the national economy on Bangkok, ③Diversion of the concentration toward the other regions, especially the Thai Gulf area, is needed.

National Spatial Role of the Phathaya: ①A secondary urban center situated between two major centers (Laem Chabang and Map Tha Phut) of ESDP that is to attract a considerable amount of population from the BMR and the rest of the country, ②Second largest tourist area (just next to Bangkok) of Thailand (in cluding one million international tourists).

(1 rai = 0.16ha)

SPATIAL FRAMEWORK		①Multi-Function City/ESB Regional Center: business, commerce, event-holding, service and information exchange, upgrade tourism/ resort. ②Orderly land use. ③Accelerate infrastructure development and regulate too aggressive private investment to prevent the gap between them. ④Avoid over-concentration of urban and tourism activities in the coastal strip by utilizing inland area. ⑤Conservation of Natural Environment.		
SUB-REGIONAL ROLES AND STRATEGIES		Phathaya Beach	Other Beaches	Other area or the whole area
		①Na Klua Town Zone: Restrict further development to protect local living environment. ②North Phathaya Zone: Conserve it for the family resort. ③South Phathaya Zone: Entertainment industries.	①Kheo Phathaya Area: High class resort. ②Jomtien Area: the urban control measure for building height, style, color. ③The Farang Beach Area: restrict further development. ④Bang Sara Area: marine leisure base (game fishing).	①Ko Lan: day-trip beach resort area. ②Inland Area (north): develop for new requirements of the tourism and urban functions (business, events). ③Inland Area (South): preserve for the water resource conservation.
MAJOR SECTORS	Water-front Improvement	South Phathaya Land Reclamation (19ha) - Additional Land Resources - Relocation of Scattered Public Services - Tourists and Commercial Center. Tourist Port - Terminal Building - Piers. Phathaya Beach Restoration - 50m width.		Ta Van Pier in Ko Lan Island.
	Infrastructure and Utilities	Phathaya Town Sewerage and Sewage Treatment. Rainwater Drainage.	Na Klua Sewerage and Sewage Treatment. Jomtien Sewerage and Sewage Treatment. Rainwater Drainage.	Water Supply (Pipe Line, Pump Station, Treatment Plant). Solid Waste Disposal (sanitary landfill). Solid Waste Disposal (incineration in Ko Lan) Road(extend Road3).

UPPER CENTRAL REGION STUDY

- Summary Table of Recommendations (as of November 1990)

National Development Scenario: ①Changes in the source of national economic growth, ②Balancing development and environmental concerns, ③Smooth change from a rural to urban society.

National Spatial Role of the UCR: ①the Chao Praya Basin – flood retention/water supply, national food supply center, ②the frontier of the BMR- systematic dispersion of the capital region to avoid negative impacts of sprawling industry, ③the gate way to the BMR- sub-national distribution center.

SPATIAL FRAMEWORK		①Balancing environmental/agricultural needs and the dispersion of the BMR economy. ②Use "gateway function" of the UCR most effectively to benefit the UCR.		
SUB-REGIONAL ROLES AND STRATEGIES		Upland area (Pasak river basin)	Lowland area (Chao Praya river basin)	The whole UCR
		①Accommodate dispersion of the BMR industrial investment. ②Diversify the production and processing of crops and livestock. ③Create a regional urban service center for the UCR.	①Enhance capacity as national food supply center. ②Enhance water resource management capacity.	①Establish a link between major field crop production, agro-processing, and livestock. ②Develop industrial and consumer markets to encourage crop diversity. ③Develop selected second order cities as strategic points for distribution and processing to increase dry season employment.
MAJOR SECTORS	Environment		Comprehensive Environment Study of the Chao Phraya River Basin. Initial Organizational Arrangement for Environment and Water Management of Chao Phraya Basin.	Preparation of Guidelines for Land Use and Environment Control.
	Human Resources	Greater Sara Buri Industrial Core (GSIC) Development Package - Business Incubator.		HRD Package - Trial Implementation of Compulsory Secondary Education, - Strengthening of Provincial Non-formal Education, - Audio-Visual System Development for People Education.
	Agriculture / Land Use	Integrated Pasak River Basin Development - Pasak Integrated Farming System (PIFS) Development (Agroforestry, Soil Consolidation, On-farm Storage), - Dairy Farm Promotion	Initial Organizational Arrangement for Environment and Water Management of Chao Phraya Basin (household water and soil management).	Agro-Industrial Linkage Development - Agricultural Cooperatives at Amphoe Level.
	Industry	GSIC Development Package - Integrated Agro-Industrial Park, - Guidelines for Industrial Locations/Urban and Housing Development in Saraburi, - Business Incubator.	- Guidelines for Industrial Locations/Urban and Housing Development in Ayuthaya.	Village Industry Promotion Center, Agro-Industrial Linkage Development - Integrated Agro-Industrial Park - Agro-Tech Center (processing)
	Distribution / Marketing		GSIC Development Package - Distribution Complex at Tha Rua.	Agro-Industrial Linkage Development - Agricultural Products Distribution Center, managed by Changwat coops (packaging, storage) - Distribution Center Complex
	Urban / Human Settlement	GSIC Development Package - Strategic Regional Center Development.		Agro-Industrial Linkage Development - Secondary Order Center Development
	Water Resource	Integrated Pasak River Basin Development - Pasak Small and Medium Water Resource Development, - Pasak Dam Project.	Chao Phraya Irrigation Operation Improvement Project. Chao Phraya On-farm Pond Project. Water User's Groups and Cooperatives.	
	Transport	Tha Rua to Sara Buri Highway. Suphan Buri to Tha Rua Highway. Klong 19 - Kaeng Khoi Railway.		
	Energy	Petroleum Product Pipeline.		Natural Gas Distribution System. Natural Gas Pipeline from Nam Phong. Rice Husk Utilization. Power System Expansion.
	Tourism		Intensive Investment to Maintain and Upgrade Tourism Assets and Facilities in Ayuthaya.	

(2) インドネシア

**FOLLOW-UP SURVEY ON JICA ASSISTED DEVELOPMENT STUDIES IN INDONESIA
: ON FIVE INTEGRATED REGIONAL DEVELOPMENT PLAN STUDIES**

Objectives of the Follow-up Survey

(1) To obtain the information on the present statuses of major development activities in the areas where the designated JICA studies on integrated regional development were undertaken.

(2) To ascertain how (and when) the proposals of the said studies have been utilized.

If not fully utilized, to ascertain the reasons and circumstances of non-utilization.

(3) To utilize the findings of the survey toward the improvement of the future undertakings of JICA development studies and other forms of technical cooperation.

Five Studies for Follow-up:

1. East Java Regional Study

(undertaken during 1975 - 1976)

2. Central Java Regional Study

(undertaken during 1976 - 1977)

3. Southern Coast Development Plan: East Java

(undertaken during 1978 - 1980)

4. Integrated Regional Development Plan for the Northern Part of Sumatra

(undertaken during 1988 - 1990)

5. Integrated Regional Development Plan for the Southern Part of Sumatra

(undertaken during 1991 - 1993)

Focus of the Follow-up:

1. On the Spatial Strategies and Priorities Proposed in the Study (Please see the attached summary)

1) Were the strategies and priorities indicated in the Study utilized in anyway in the subsequent regional development planning ?

Which part of the strategies and priorities were considered relevant or useful, and how were they utilized ?

2) If the strategies and priorities indicated in the Study were not utilized in anyway,

What were the circumstances which reduced the relevance or usefulness of the proposed strategies and

priorities ?

What were the strategies and priorities which were actually adopted instead?

- 3) Concerning the strategies and priorities proposed in the Study, do any of them still have some relevance or usefulness for the present regional development planning ?

2. On Priority Projects and Programs Proposed by the Study (Please see the attached summary)

- 1) Were any of the priority projects and/or programs indicated in the Study actually implemented ?

Which projects and/or programs were considered relevant or useful for the subsequent more-detailed planning and implementation ?

- 2) If the priority projects and/or programs indicated in the Study were not utilized in anyway,

What were the circumstances which reduced the relevance or usefulness of the proposed priority projects and/or programs ?

- 3) Concerning the priority projects and/or programs proposed in the Study, do any of them still have some relevance or usefulness for the present regional development planning ?

East Java Regional Study

(completed in 1976)

I. Proposed Spatial Strategies and Priorities for Regional Development

A dual development strategy of "pulling from the top" and "pushing from the bottom"

- "Pulling from the Top" / "Surabaya-out" strategy

Development of skill-oriented and labor-intensive industries, starting from Surabaya and extending to Mojokerto, Kediri and Madiun in the west, to Malang in the south, and to Pasuruan, Probolinggo, Jember and Banyuwangi in the east.

(See Figure 1.1)

Industrial centers: Surabaya, Mojokerto, Gresik, and Pasuruan

Growth centers: Malang, Jember, Madiun

- "Pushing from the Bottom" Strategy

Rural development efforts and water resource development to improve the living conditions of rural population

(See Figure 1.2)

II. Proposed Priority Projects and/or Programs

1. Priority Program

(1) Industrialization Program

- Establishment of an Industrial Development Committee of JATIM under the chairmanship of the Governor, represented by BAPPEDA, Investment Coordination Board, BAPINDO, Dinas Perindustrian, Vocational Training Center, PLN, Dinas PU, Dinas Irrigation, etc..

The functions of the Committee is to set development objectives and criteria and to coordinate activities among those organizations for industrial development.

- Mining explorations

Manganese ores and marbles in Trenggalek and Tulungagung
Iron sand in Puger and Jember
Phosphates in Pacitan

- Free Trade Zones and Industrial Estates

FTZ: Tanjung Perak and Muneng (Banyuwangi)

- Manufacture of agricultural machinery
(revitalization of PINDA TOSANA Group)

- Study of Potentials of Home Industries

- Ship Building and Repair at Tg Perak

- Overhauling of provincial enterprises

(2) Flood Control and Water Resources Development Program

1) Medium-term Development Program of the Solo River Basin

- Upper Solo River Basin: Wonogiri Multi-purpose Dam

- Lower Solo River Basin: Jipang Multi-purpose Dam with Downstream River Improvement, and Related Irrigation Works

- Madiun River Basin: River Improvement around Madiun and Critical Downstream Reaches

2) Jero Swamp and Corong River Development Project

Because of the increasing need for supplying water to the Surabaya area from Bengawan Solo,

consideration should be given to the possible utilization of Corong River as a supply channel to Surabaya and to formulate an integrated multipurpose project by combining the development of Jero Swamp and Corong River.

(3) Madura Agricultural Development Program

- Beef fattening
- Freshwater fish culture
- Upland crops (after identification of suitable crops)

(4) Southern Coast Development Program

- Port and port-related development at one of the three locations (Prigi, Puger, or Pacitan) to give better access to the underdeveloped area along the southern coast
- Prefeasibility and feasibility Study of mining resources :
 - Manganese ore, limestone and marble at Prigi
 - Ironsand and manganese ore at Puger
 - Ironsand and limestone at Pacitan

(5) Rural Development Program

1) Production-processing-marketing related programs which are undertaken through BUUK/KUDs

- Marketing system of palawija crops

2) Infrastructure related programs financed through INPRES funds

- Rural telephone system / pilot scheme

(6) Community Facility System Development Program

- Preparation of a General Guideline for Community Facility System Development

2. Supporting Program

(7) Professional Education Program

- Instructor Retraining Program
- Government Employee Retraining Program
- Student Training Program

(8) Strengthening of BAPPEDA

Other water resource development projects

a) Brantas River Basin

- River improvement in the middle reaches
- Rehabilitation of Brantas Irrigation systems (Jatimlerek - Bunder; Warujayeng - Kertosono; Turi - Tunggoro)
- Tributaries development including the Widas and the Beng Rivers
- Flood control along the Ngrowo River near Tulungagung
- A general groundwater survey (Mt. Arjuno) to supply urban and industrial water to Surabaya
- A study of water pollution control programs in the greater Surabaya area

b) The Besuki Area

- A groundwater study

c) The Madura Area

- Implementation of water utilization based on the completed groundwater survey

Transportation:

- Surabaya and Gresik Ports
- Prefeasibility Study of Port Development at Prigi, Puger and Pacitan (Southern Coast Development)
- Highway Improvement
- Urban Transport Management Study for Surabaya

Summary of Central Java Regional Study
(completed in 1978)

I. Proposed Spatial Strategies and Priorities for Regional Development

1. Combination of three development strategies shown below

(See Figure S.1 and Figure S.5)

(1) Differential Growth Strategy (= economically most efficient strategy)

a) Growth Center : Semarang

b) Development Belt of Secondary Growth Centers:

- Tegal (metal manufacturing; trade)
- Pekalongan (textile manufacturing; trade)
- Salatiga (agro-industries)
- Surakarta (cigarette & textile, tourism)

Magelang (agro-industries; tourism)
Klaten) (basic metal processing)

(2) Minus Areas Strategy

- a) Central highland areas (from Mt. Ungaran to Mt. Slamet)
- b) Eastern areas

(3) Cilacap Axis Strategy

- a) Industrial development
- b) Port development
- c) Development of port-related inland infrastructure (highways, railroads, industrial water supply, etc.)

2. Selected Priority Areas for Development

(See Figure S.5)

(1) Priority Area I

- I-A KDY Semarang
- I-B Dieng Plateau, Wonosobo
- I-C Magelang, Temanggung, Kopeng, Bandungan
- I-D Demak, Kudus, Jepara

(2) Priority Area II

- II-A Cilacap
- II-B Purwokerto, Banyumas, Baturaden

II. Proposed Priority Projects and/or Programs

1. Priority Area I : Industry, Tourism and Agriculture

(1) Industrial Development / Industrial Estates

- a) Semarang as the distribution hub
- b) Kudus (printing and tobacco)
- c) Magelang, Temanggung and the Dieng Plateau (agro-processing industries based on the agricultural products in the surrounding areas)

(2) Industry-related Projects

- a) Semarang Port Development
- b) Upgrading of the national highway
 - Northern coast from Brebes to Semarang
 - (south) Semarang to Surakarta
 - (east) Magelang - Klaten - Jogjakarta
- c) Strengthening of Industrial Extension Services

d) Urban Planning & Development, Housing Site Development and KIP (Semarang)

(3) Tourism Development

- a) Borobudur
 - b) The Dieng Plateau (agro-tourism)
 - c) Other resort areas: Kopeng and Bandungan
 - d) Wood carving products at Jepara
 - e) Hotel/Restaurant/Resort Facilities
- Centers of Development: Semarang & Magelang

(4) Agricultural Development

- a) Demak-Kudus Area
 - Dependable Irrigation development:
(reservoirs, drainage, tertiary canals, marketing organizations)
 - Access to Semarang (road improvement)
 - b) The Dieng Plateau
 - Highland agriculture catering to special markets
- Agricultural land development, etc.
Marketing development
Agro-processing
Agro-tourism

2. Priority Area II : Industry in Cilacap

(1) Selective Industrial Development at Cilacap (Area II-A)

- a) Specialization in heavy industries so as not to compete with Semarang (utilization of the deep sea port)
- b) Development of support facilities
 - Improvement of power supply
 - Improvement of water supply
 - Expansion of industrial sites
 - Highway access improvement

(2) Complementary Development (Area II-B)

- Cultural, educational and recreational development

Summary of Southern Coast Development Plan : East Java
(completed in 1980)

I. Proposed Spatial Strategies and Priorities for Regional Development

Development Strategy and Priority Areas are established as follows:

(See Figure S.1, Table S.2 and Figure 1.4)

(1) Brantas Basin Development Strategy for Brantas Basin Economic Unit

a) Priority Development Zones (DZ)

- DZ Kediri
- DZ TTB Axis (Central Trenggalek, Northern Tulungagung, and Central Blitar)
- DZ Northwest Hill (East Ponorogo, Northern Trenggalek, Western Kediri)
- DZ Northeast Hill (Southern Kediri, Northern Blitar)

b) Development Focus

- *Agricultural intensification (paddy) and diversification (industrial raw materials)*
- Promotion of livestock
- Agro-industry development
- Development of fishery and commercial ports
- Promotion of fishery (Prigi) and fishery distribution systems

(2) Coastal Hill Development Strategy for two coastal areas

a) Priority Development Zones (DZ)

- DZ Pacitan
- DZ Southern Trenggalek
- DZ Southern Coast (Southern Tulungagung, Blitar)
- DZ Western Malang (Eastern Blitar, Southern Malang)

b) Development Focus

- Utilization dryland
- Promotion of livestock
- Regreening and reforestation
- Promotion of home and handicraft industry
- Promotion of small-scale agro-industry
- *Small-scale dam development*
- Groundwater development
- Access roads
- Promotion of coastal fishery

(3) Central Belt Link Strategy for Ponorogo/Pacitan Economic Unit and Malang/Blitar Economic Unit

a) Priority Development Zones (DZ)

- DZ Ponorogo
- DZ Kediri
- DZ Southern Trenggalek
- DZ TTB Axis
- DZ Western Malang

b) Development Focus

- Promotion of livestock
- Agricultural intensification
- Improvement of existing small-scale manufacturing
- Improvement of provincial highway and feeder roads
- Organization of efficient marketing systems

II. Nine Proposed Project Packages

1. Project Package I : Western Malang Rural Development

Major Projects:

- Tinator Dam
- Grindulu Dam
- West Pacitan Critical Area Rehabilitation
- West Pacitan Small Check Dams (five)
- Ponorogo-Pacitan Provincial Highway Betterment

2. Project Package II : Pacitan Bay Area Development

Major Projects:

- Pacitan Fishing Port Feasibility Study
- Pacitan Commercial Port Feasibility Study
- Pacitan Cold Storage
- Pacitan Metal Engineering Workshop

3. Project Package III : East Pacitan Rural Development

Major Projects:

- East Pacitan Critical Area Rehabilitation
- East Pacitan Small Check Dams (five)
- East Pacitan Rural Water Supply (five systems)

4. Project Package IV : Southern Blitar Rural Development

Major Projects:

- Sericulture Pilot Project
- Blitar Critical Area Rehabilitation
- Wiringin Dam
- Blitar Small Check Dams (five)
- Blitar Rural Water Supply (five systems)

5. Project Package V : Prigi Bay Area Integrated Development

Major Projects:

- Prigi Fishing Port Improvement
- Prigi Commercial Port Feasibility Study
- Fishery Experiment Station
- Southern Belt Crop Experiment Station
- Tulungagung Cold Storage
- Trenggalek Cold Storage
- Prigi Water Supply
- Prigi-Tulungagung Transmission Line
- Prigi Electrification Project

6. Project Package VI : Western Malang Rural Development

Major Projects:

- Pengukuran Dam
- Malang Small Check Dams (five)
- Malang Rural Water Supply
- Malang-Turen Provincial Highway Betterment

7. Project Package VII : Southern Tulungagung Rural Development

Major Project:

- Tulungagung Critical Area Rehabilitation

8. Project Package VIII : East Ponorogo Rural Development

Major Projects:

- Bendo Dam
- Ponorogo Critical Area Rehabilitation

9. Project Package IX : Trenggalek-Tulungagung-Blitar Axis Road Network Development

Major Projects:

- Ponorogo-Trenggalek Provincial Highway Betterment
- Blitar Srengat Provincial Highway Betterment

JICA

